



インターネットは「森とせせらぎネット」で検索してね!

今年も楽しさ森もり沢山! 第5回「森とせせらぎ祭り」

第5回目となる今年の「森とせせらぎ祭り」が、昨年と同じく高津区橋公園で11月6日(日)9時30分より開催されます。(雨天時のステージ演技は東橋中学体育館)各部会や出場者・出店等の準備も着々と進んでいます。大人から子どもまで、一日楽しめるよう企画しております。皆様のご来場をお待ちしております。



詳細お問い合わせは、事務局
田辺044-766-5315まで。



子ども未来・地域ふれあい 水と緑のふるさとづくり



シリーズ 中原・高津の農家

シリーズ3回目を迎えた今回は、前回取材した小島正夫さんからご紹介いただきました。内藤松雄さんの直販所にお邪魔してお話を聞いて参りました。下小田中の二丁目には内藤さんという苗字の方が多いらしいです。そのことをお聞きしたところ、大抵がご親戚か、何らかの関係があるお宅だそうなんです。こちらの農家は18世紀初頭くらいから綿々と続いており、内藤松雄さんが14代目というのを「あまり定かな話ではないですが」と、少し照れながら仰っていました。



ります。
熱気溢れる演目と美味しい食べ物。みんなで盛り上がりつつあいまししょう!

…東日本大震災 犠牲者の鎮魂… 「灯籠流し」

松本浩次郎

8月14日、江川せせらぎ遊歩道に夕闇が迫り、東屋付近に子どもたちや親子づれが集まりました。「地域の安心 地球の平和 祈りを込めて灯籠流し」の挨拶に続いて、ひとみ座人形劇団の「乙女文楽」に、五百人を越える人々が魅了された。売れ行き不振だったせせらぎネット手づくりの三百個の灯籠は、駆けつけた親子づれが買い求め、思い思いの色付けをし、ロウソクに灯がともされ、小関橋際から流れ出した。兩岸に集まった大勢の人々が見守る中を、風に揺られてユッタリと流



れる「明かり」は、東日本大震災被災地の幼い子どもたちの「いのち」のようにキラメイていた。9時過ぎには跡片付けも終わり、打ち上げで飲んだビールと、ヤッタ!という満足感が身体の中を駆け巡った。

し、代々土地に根ざしていることもあり、先代つまり内藤松雄さんのお父さまは、このあたりの土地の歴史にとっても精通されていると、当団体代表の平井さんからも聞きました。

*裏面につづく

連載

「詩吟―続」 稲本吼信 (こしん)

朝は早ようから起こされて
行かねば成らない寒稽古
声を限りに吟ずるは
「金州(きんしゅう)
城外(じょうがい)」
「爾靈山(にれいざん)」

人間とは思議なもので、一
歩踏み出す事ができれば、二歩
三歩と余り抵抗無しに進めるも
の。寒稽古などと、今どき流行
らない稽古はさておいても、自
分が選んだ稽古事である事も
あって、結構前向きになれるも
のです。特に、同じレベルの仲
間が居たりすると、競争心も湧
いたりして、自分にも未だコン

〜シリーズ〜地産地消〜

中原・高津の農家

*表面からのつづき

畑に限らず、中原区周辺では
開発が進み、マンションや一戸
建て住宅が増えることで、自然
や緑が失われて来ている。時
代の流れとは言え、貴重な自然
や緑を少しでも残していきたい
ものです。

内藤さんによれば、
明治大学農学部教授
の竹本先生を議長と
し、農業者が委員と
なり、農協や消費者
団体、一般公募によ
る有志の方々も協力
し、農地を守って行
こうという趣旨で、
ヨーロッパの都市農
業を参考に、話し合
いや働きかけがな
されていくというこ
とでした。

農地を守っていくこと
は、住宅化を防ぎ、緑の保全や
近隣居住者の精神衛生向上に役
立っただけでなく、防災用地や防
火空間としての機能も果たすこ
とになり、また近隣居住者の資
産価値向上という、目に見えな
い効果もあるのだそうです。



ナ若さが残っていたかと、自信
を取り戻し、頑張る気になるも
のです。因みに「中高音のス
キー術(NHK)」の講師曰く、
中高音の極意は「頑張らない、
競わない、無理しない」だとか。

しかし、体力は確
実に衰えてはしま
すが、知力や、技
法はまだ鍛え
る事ができ
ます。何が違
うか？

記者・本間

地元の農地が年々減ってい
くのはなんだか寂しい気がし
ていた記者は、そのお話を聞
いて心が温まる思いがしまし
た。

この周辺に畑が比較的多く
残っているのは他にも重大な
理由があるそ
うです。しか
し紙面では敢
えてナイショ
にしておこう
と思います。



ミョウガの白い花

内藤さんの
畑では多くの
種類の野菜や
果物を作っ
ています。

写真右下は
ダイコンです
が、畑でお話を伺っているあ
いだにも、常連のお客さんか
ら、「ダイコンパ頂戴」と声
を掛けられ、なんのことかと
見ていると、芽を出したが間
引くダイコンのことでした。

写真左下
苗を植えてひと月くらい
のダイコンの実は未だほ
んの2、3センチで生でポリ



無駄なく美味しくいただく、ダイコンパ



すくすくと成長するダイコン

ポリ、葉はさつと湯がいたり
炒めたりするととても美味し
いそうです。皆さんご存知で
したか。想像するだけで涎が
出そうになりますね。しかも
無駄が無い。記者はまたひと
つ野菜通に近づきました。

なれない事をやると、厭き易い
(言訳||いまさら・・・)、習
得するのに、若者の何倍もの時
間に係る(言訳||若いときはこ
んな事はなかった・・・)この
ことに関してのみ言えば当に
「無理して頑張らない」事が、
趣味として楽しむ中高音の極意
と言えるでしょう。山登りにた
とえれば、頂上まで登る体力
(気力)のお有の方は、頂上を
目指して頑張るもよし、体力
(気力)に自信の無い方は、周
りの風景(雑学||詩・作者の背景
を知るなど)を楽しみつつ、マイ
ペースで行ける処まで行く。最も
大切な事は、ストレスを貯めず、
吟友と楽しく過ごす事です。



森とせせらぎ
ネットワークで
は年4回発行の
『森とせせらぎ
ネットワーク
ニュース』をご
希望者にメール
配信しておりま
す。
配信ご希望
の方は下
記アドレス
までメール
にてお申し
込み下さい。
Moritoseseraginet@gmail.com



Moritoseseraginet@gmail.com

編集雑記

上段の写真は、旬は
過ぎてしまいましたが
ミョウガの花が咲いて
いるところを、珍しい
ので載せてみました。
11月には収穫ですが、
どの作物もすぐに売り
切れてしまうそうです。
野菜の他にも柑橘類
やびわ、いちご、イチ
ジク等も作っておられ
ます。
天気も良く、畑で2
時間ほどお話を聞いて
いましたが、とても落
ち着く空間だったなど、
その心地よさを思い出
しながら記事を書いて
います。

直販所・中原区下
小田中二一二十七二

お詫び
今号は都合によ
り勝手ながら縮小
版となりました。
その為、関係団
体イベント紹介は
下記ホームページ
にて閲覧下さい。
佐藤克明氏によ
る全国の祭り連載
はお休みさせてい
たきます。